

取扱説明書

この製品の機能を十分に生かして正しくお使いいただくため、ご使用前にこの説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。きっとお役に立ちます。

基本的な録画・再生

- 電源のとりかた 4 5
- カメラ録画のしかた 6 7
- テレビ録画するときは 10 11
- タイマー録画 12
- 録画した画像を見るときは
- カメラ録画でその場で確認 7
- テレビをつないで見るときは 8 9
- チューナータイマーユニットを使うときは 11

便利な使いかた

- いろいろな再生画像を見る
- 2倍速再生、静止画、スロー再生 14
- コマ送り、逆戻り再生、往復くり返し再生 15
- 希望の所をさがしたいときは 16
- タイムカウンター、テーブルターン、ピクチャーサーチ

いろいろな使いかた

- 解説します
- 故障？

ビデオデッキ

SL-F1



基本的な録画・再生

電源のとりかた 4
カメラ録画のしかた 5
テレビ録画するときには 6
タママー録画 10
録画した画像を見るときは 11

便利な
使いかた

いろいろな再生画像を見る 8
2倍速再生・静止画・スロー再生 9
コマ送り・逆戻り再生・往復くり返し再生 11
希望の所をさがしたいときは 12
タイムカウンター・テープリターン・ピクチャーサーチ 13

いろいろな
使いかた

あとから音だけ録音するには 18
リモコン操作 19
テープをコピーしたいとき 20
PCM録音再生 21
システム発展例 22

解説
します

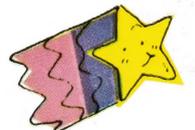
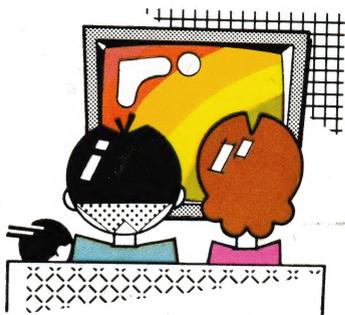
つまみやボタンの働き 23
ビデオ豆知識 24
主な仕様 25

故障？

画像がきれいに再生できないときは 17
ビデオデッキが動かない!! 18
故障かな?と思ったら 19
保証書とアフターサービスについて 26

裏表紙

添付の別紙



小型軽量ビデオ。

ビデオシステムを大きく広げるアクセサリ接続コネクター。

ビデオカメラがコード1本でつなげるカメラコネクター付き。

テープの走行時間を正確に示すタイムカウンター。

電源はコンパクトな充電式電池。

もちろんご家庭のコンセントでも自動車のバッテリーでもOK。

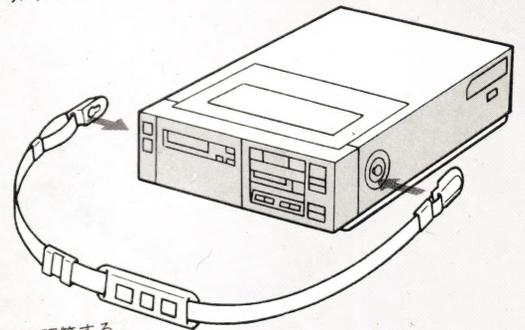


軽快なタッチの操作ボタン

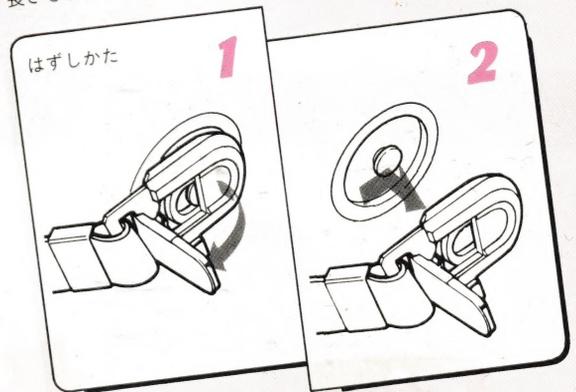
静止画、スロー、コマ送り、逆戻り...
多様なスイングサーチボタン。



肩掛けベルトを取り付けて機動力をアップ。



長さを調節する。



番組の長さに合わせて録画時間が選べます。

録画時間 スイッチの位置	ビデオカセット						
	L-750	L-500	L-370	L-330	L-250	L-165	L-125
βII	180分	120分	90分	80分	60分	40分	30分
βIII	270分	180分	135分	120分	90分	60分	45分

録画・再生について

このビデオはβ（ベータ）方式のビデオです。

- β（またはβII）マークのついたビデオカセットテープ以外は使用できません。また、βIIIモード（テープ速度：1.33cm/sec）で録画したテープは、βIIモード（テープ速度：2.00cm/sec）専用のビデオでは再生できませんのでご注意ください。

- このビデオで録画したテープは、β方式の当社、および三洋、東芝、新日本電気、ゼネラル（順不同）各社のビデオのβII、およびβIII各モードごとに相互に互換性があります。
- このビデオではβIIモード（テープ速度：4.00cm/sec）で録画されたテープも再生ができます。
- 市販のビデオソフト（録画済みテープ）はβ（または、βII）マークのついたものをお求めください。
- テレビ放送の方式が異なる外国で作製されたビデオソフトなどは、このビデオデッキでは再生できません。

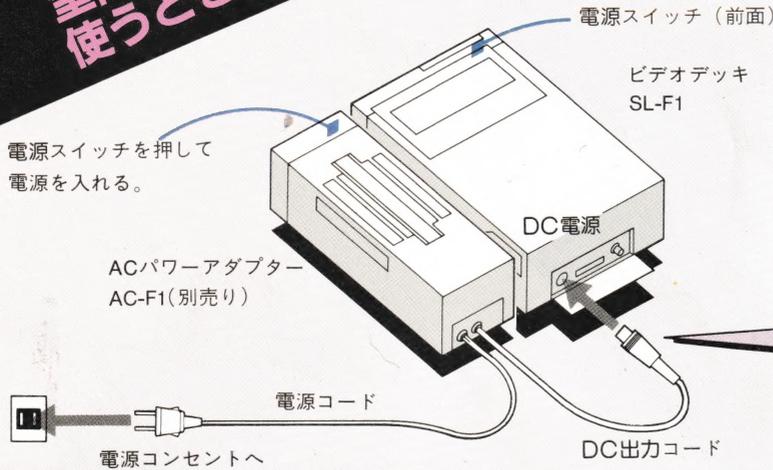
まず電源を選んでください

このビデオデッキは、ご家庭のコンセントや自動車のバッテリー、充電式電池で使えます。カメラをつないである場合は、カメラへも同時に電源が供給されます。



室内で
使うときは

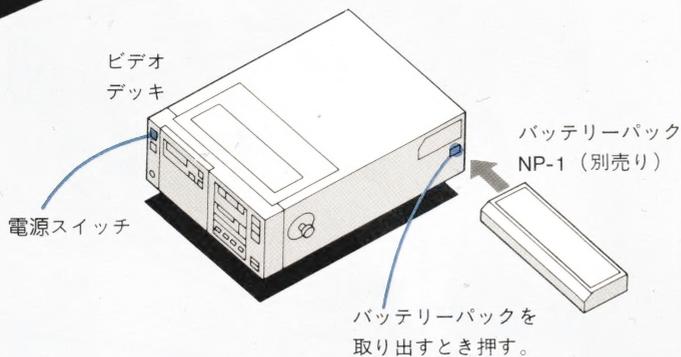
AC電源アダプターを使って



AC電源アダプターの電源を入れてからビデオデッキの電源スイッチを押せば電源が入ります。切るときは、AC電源アダプターの電源スイッチを押すだけで電源が切れます。

屋外で
使うときは

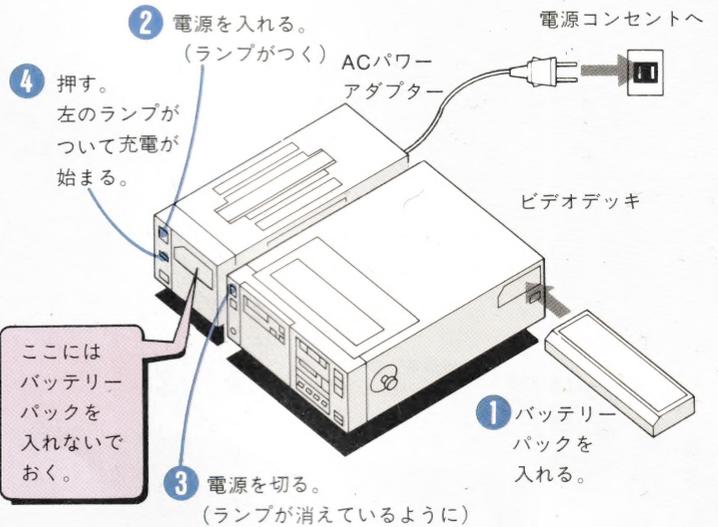
充電式電池を使って



バッテリーパックは、必ず充電してからお使いください。

充電のしかた

AC電源アダプターを使って……つなぎかたは上の欄をご覧ください。



バッテリーパックで使える時間は

十分に充電されたバッテリーパックで、ビデオデッキとビデオカメラHVC-F1などを使った場合、約1時間使えます。これは常温(25℃)での時間です。温度により使える時間も変わりますので注意してください。

録画に出かけるときは、構図を決めたりカメラの調整をしたりする間に電池が消耗しますので、必ず予備の電池をお持ちください。



- ビデオデッキ内のバッテリーパックを充電している間に、ビデオデッキの電源を入れると、充電は止まります。再び充電するときは、電源を切ってから充電開始ボタンを押し直してください。
- バッテリーパックが使用直後で温かくなっているときや、周囲の温度が高いときに充電すると、完全に充電されないことがあります。この場合は、お使いになれる時間が短くなりますのでご注意ください。また、使用直後数分間は、充電開始ボタンを押しても充電されないことがあります。
- AC電源アダプターだけでも充電できます。AC電源アダプターの取扱説明書をご覧ください。
- 2個同時に充電することはできません。AC電源アダプターとビデオデッキの両方にバッテリーパックが入っている場合は、アダプター内のバッテリーパックだけが充電されます。

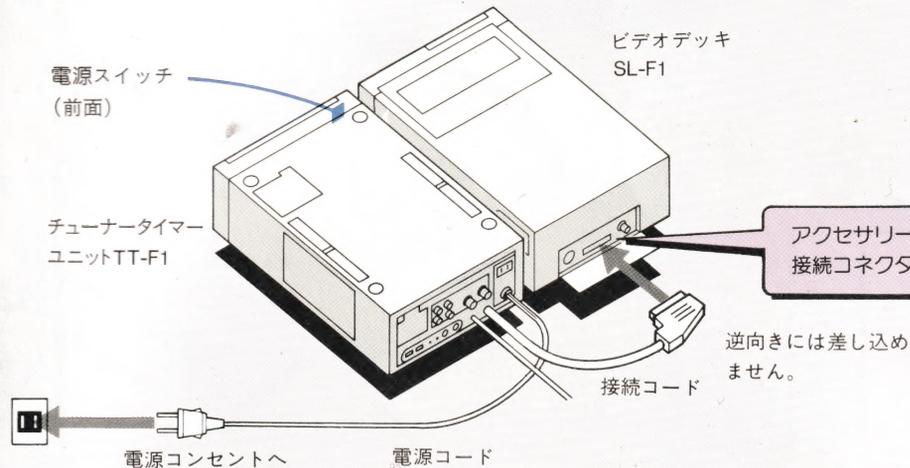


覚えておきましょう!

このビデオデッキでは、使っている電源によって電源の入れかたが異なります。操作説明の中で次のマークで示されたところは、それぞれの電源で使用しているときの説明です。

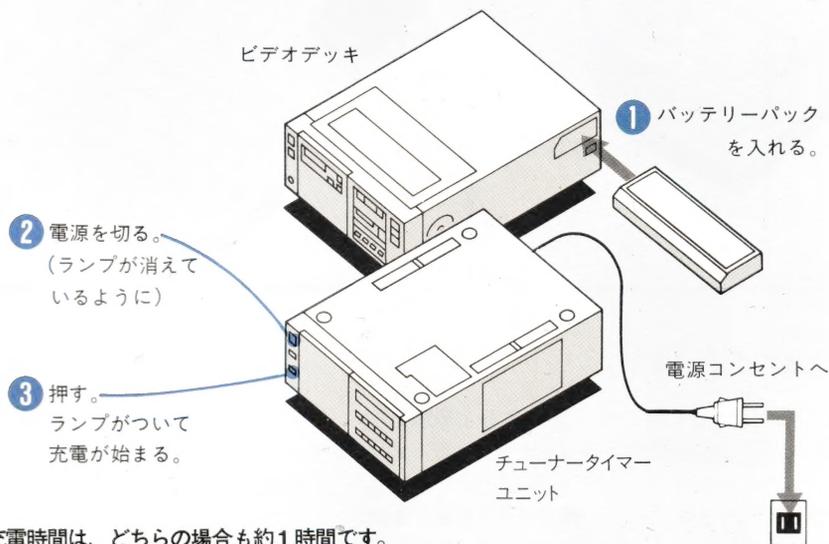


TT チューナータイマーユニットを使って



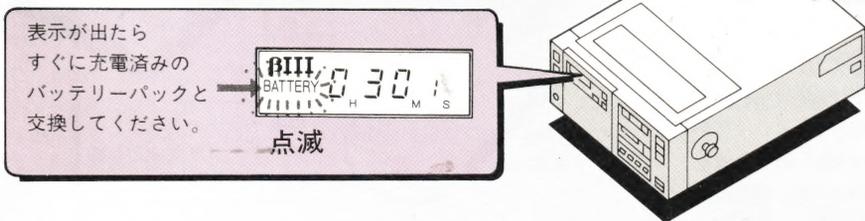
この場合、ビデオデッキの電源スイッチは働きません。チューナータイマーユニットの電源スイッチでビデオデッキの電源も入/切されます。ただし、電源が切れるのは、スイッチを押してから約1秒後です。

チューナータイマーユニットを使って……つなぎかたは上の欄をご覧ください。

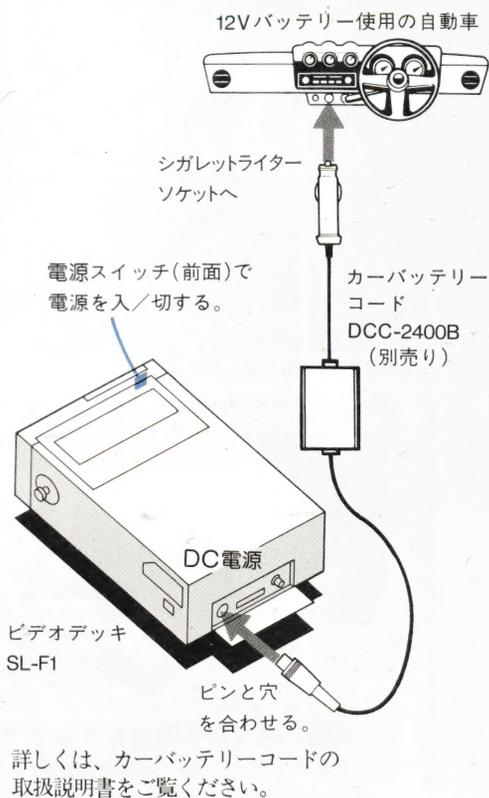


充電時間は、どちらの場合も約1時間です。充電されると自動的に充電が止まり、充電中ランプが消えます。

電池を換える時期は……タイムカウンターがお知らせします。BATTERY表示が出てから30秒ほどで自動的に電源が切れます。

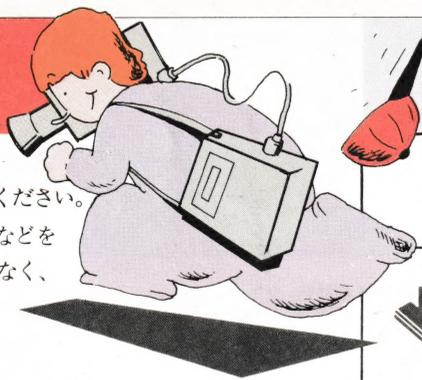


DCC 自動車のバッテリーを使って



ビデオデッキにACパワーアダプターやチューナータイマーユニット、カーバッテリーコードをつなげば、ビデオデッキ内にバッテリーパックが入っていても、外部からの電源で使えます。

カメラ録画



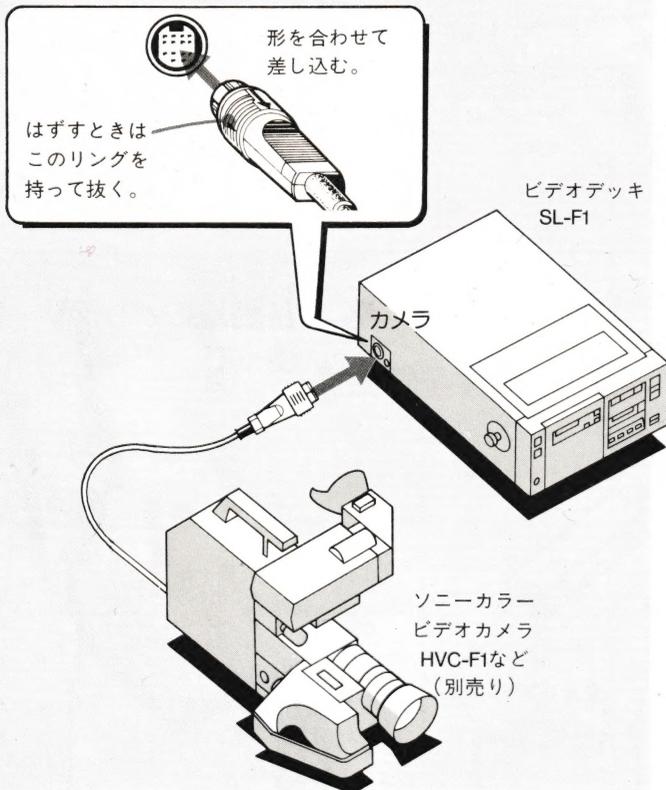
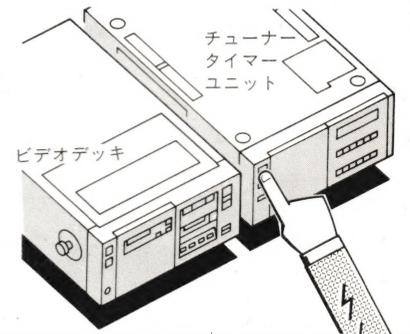
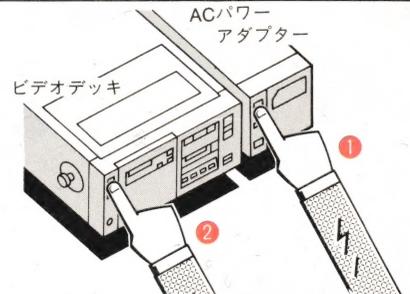
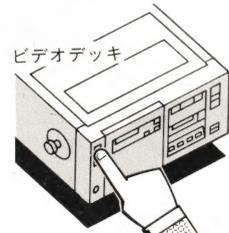
さあ録画してみましょう。

ビデオカメラを使って、ゴルフのレッスンや子供の成長記録など、自作のビデオをお楽しみください。別売りのソニーカラービデオカメラHVC-F1などを使えば、コード1本で簡単につなげるばかりでなく、録画の一時停止をカメラのボタンでコントロールすることもできます。

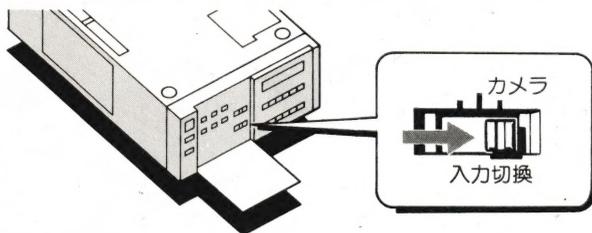
カメラをつなぎます

まず電源をつないで（4ページ）、カメラを接続してください。

1 電源を入れる。



チューナータイマーユニットをつないでいるときは必ず入力切換スイッチを“カメラ”の位置にしてください。

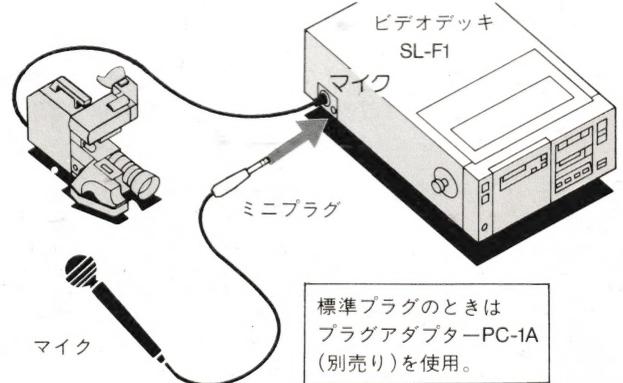


カメラ撮りしている画像をテレビで見るとは

テレビをつないでおくと、録画中の画像をテレビの画面に映すことができますので、カメラの調整などに便利です。ただし、バッテリーバックで使っている間はふつうのテレビでは画像を見ることはできません。録画中の画像の確認をしたいときは、映像入力端子付きのテレビ(KV-4P1など)やカラーモニターをお使いください。

外部マイクを使う場合は

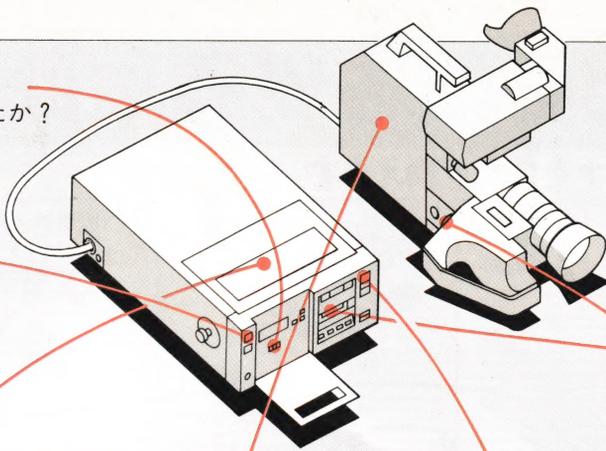
マイクを差し込むとカメラに内蔵のマイクは切れて、外部マイクからの音が録音されます。



■大切な録画（結婚式など）の場合は、必ず事前にためし撮りをして、正常に録画、録音されていることを確認してください。

■ビデオカメラやビデオデッキ、テープの使用で、万一これらの不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

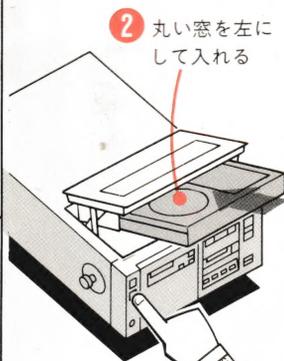
録画時間は
合わせましたか？



他のビデオデッキで再生する場合は、あらかじめテープを少し送ってから録画を始めてください。

テープのはじめから録画、再生するとき、このビデオデッキでは、他のビデオデッキ（SL-J1、J9など）より少し手前から録画、再生が始まります。（Ⅱで約10秒、Ⅲで約15秒）

2 カセットを入れる。



2 丸い窓を左にして入れる

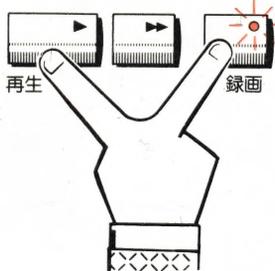
1 カセット取出しを押しを押す。

3 カメラの調整をする。



カメラの取扱説明書をご覧ください。

4 録画(○)を押しながら再生(▷)を押す。



ビデオデッキは一時停止状態になる。

5 カメラのテープ走行を押す。

テープ走行



録画が始まる。

録画を止めるときは



テープが終わると自動的に最初まで巻き戻されて止まる。

録画を一時的に止めるには

カメラのテープ走行ボタンか、ビデオデッキの一時停止ボタンを押してください。また録画を始めるときは、もう一度押します。こうしてつなぎながら録画した画面は、つなぎ目での乱れがありません。（24ページ）

ビデオデッキは8分以上一時停止状態が続くと、自動的に操作ボタンのランプが消え、バッテリーバックで使っているときは、停止状態になり、その他の電源で使っているときは、録画状態に戻ります。これはテープとデッキ内部の機構を保護するためです。

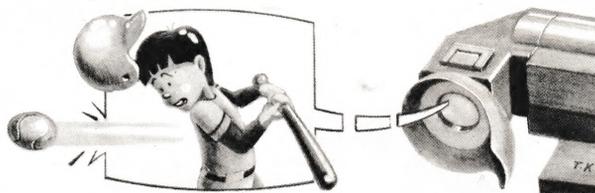
バッテリーバックでお使いの方へ

電池の消耗をおさえるため、長く録画を中断するときは、**停止**(■)ボタンを押してください。停止状態から再び**録画**(○)と**再生**(▷)のボタンを押すと、ビデオデッキは一時停止の状態になりますので、画面のつなぎ目での乱れはありません。

バッテリーバックで使っているときは、**停止**(■)ボタンを押したあと8分以上テープを動かさずにいると、自動的に電源が切れ、電池のムダな消耗をおさえます。

映したその場ですぐに見るには

- 1 巻戻し(◀◀)ボタンを押してテープを巻き戻します。
- 2 適当なところで再生(▷)ボタンを押してください。
カメラのビューファインダーに、いま撮ったばかりの画像が映ります。



止めるときはビデオデッキの**停止**(■)ボタンを押してください。

レックレビュー機能付きのカメラ(ソニーHVC-F1など)を使うと録画の一時停止中にカメラのレックレビューボタンを押すと、録画したシーンの最後の部分だけをすぐに見ることができます。うまく録画できたかどうかのチェックに便利です。

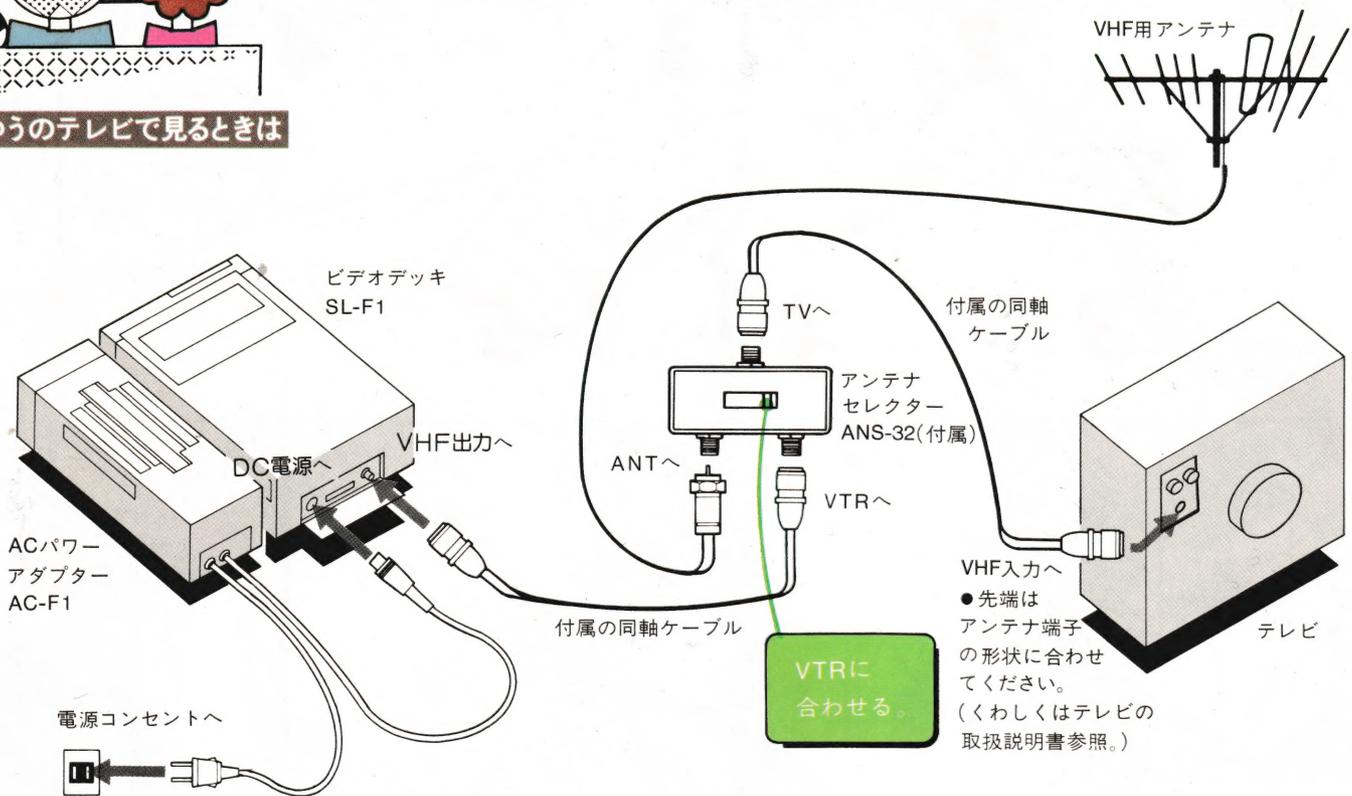
●レックレビューボタンは、テープが止まったのを確かめてから押してください。フェードアウト中、テープが止まる前にレックレビューボタンを押すと、テープが一時停止せずに、暗い画面が続いて録画されることがあります。このときは、ビデオデッキの一時停止ボタンか停止ボタンを押してテープを止めてください。

録画した画像を見るには

まずテレビのアンテナをつなぎ換えます

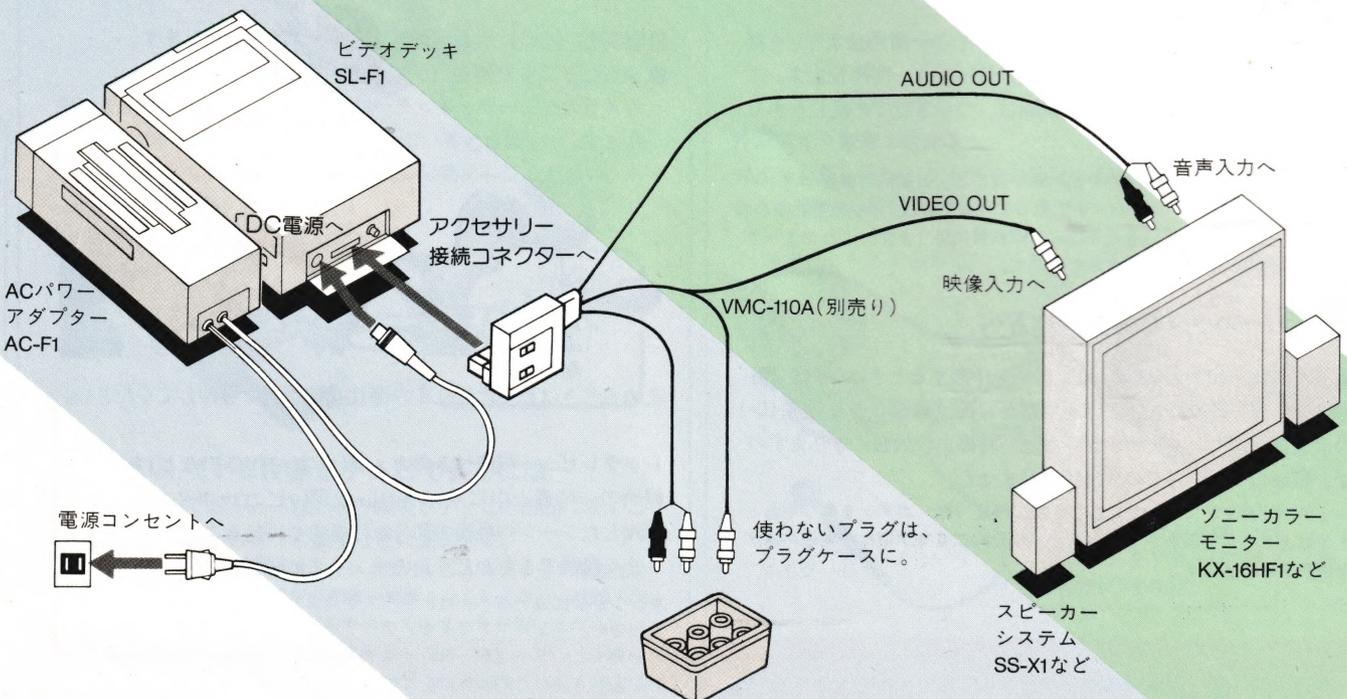


ふつうのテレビで見るときは



カラーモニターを使うときは

ソニー“プロフィール”シリーズなどのカラーモニターを使うと、一層質の高い画像がお楽しみいただけます。また、バッテリーパックを使って録画している間も、録画中の画像が見られます。

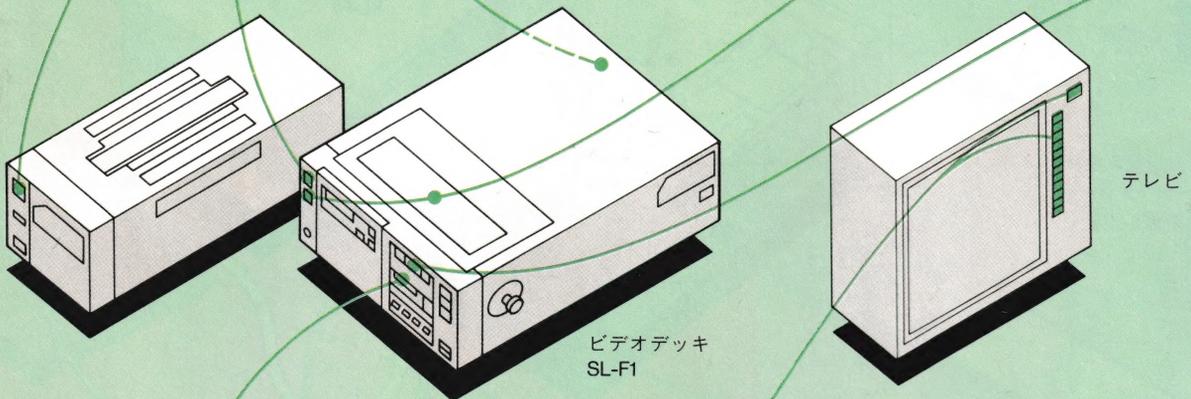


●テレビチューナーを組み合わせるときには、テレビチューナーの映像出力と音声出力に VIDEO INと AUDIO INのコードをつなぐと、テレビ番組を録画できます。

さあ、再生してみよう

●カラーモニターの場合は2と5の操作はいりません。

<p>1 電源を入れる。</p> <p>ACパワーアダプター</p> <p>ビデオデッキ</p> <p>① 電源</p> <p>② 電源</p>	<p>2</p> <p>チャンネル切換</p> <p>1CH</p> <p>2CH</p> <p>1チャンネルと2チャンネルのうち、放送のない方のチャンネルに合わせる。</p>	<p>3 カセットを入れる。</p> <p>② 丸い窓を左にして入れる。</p> <p>① カセット取出しを押し。</p>	<p>4</p> <p>巻戻し 再生 早送り</p>
---	---	--	-----------------------------------



再生をやめるとき

停止

テープが終わると自動的に最初まで巻き戻されて止まる。

5 電源を入れて**2**で選んだチャンネルに合わせる。

きれいに映らないときは

微調整つまみを調節する。

ボタン式チャンネルのテレビで**2**で選んだチャンネルに合ったボタンがないときは、空いているボタンを選んで、ビデオの画像がきれいに映るように調節する。

くわしくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

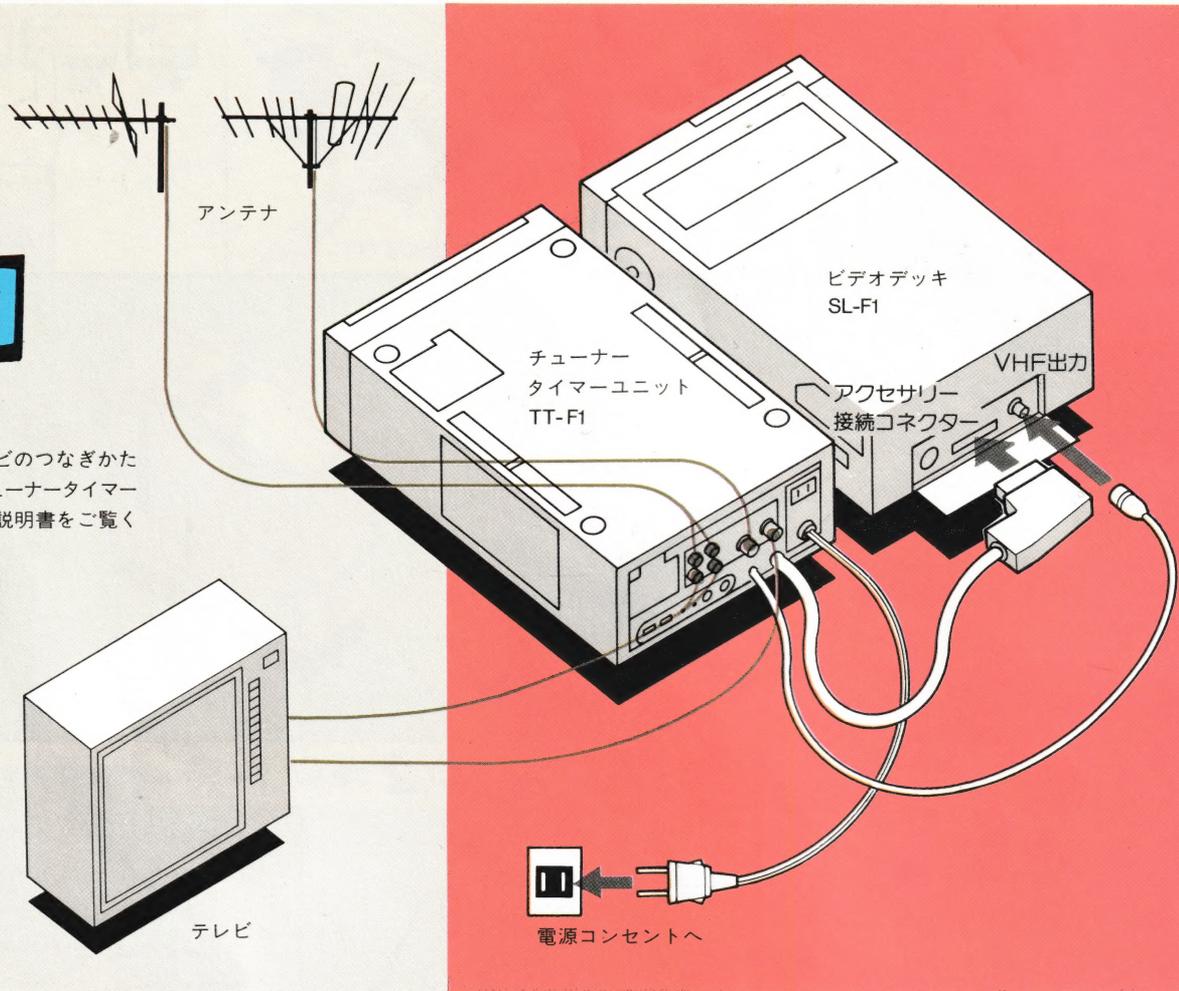
●一度2の操作をしてしまえば、次から使うときは2の操作は必要ありません。

最初までテープを巻き戻して見るには

	<p>1 巻き戻し、または停止中に巻き戻し(◀◀)を押しながら再生(▶)を押す。</p> <p>① 巻き戻し</p> <p>② 再生</p>	<p>2 全部巻き戻されると消える。</p> <p>再生が始まる。</p> <p>巻戻し 再生 早送り</p>
--	---	--

テレビ番組の録画には、チューナータイマーユニットTT-F1 (別売り) をお使いください。

チューナータイマーユニットをつなぎます



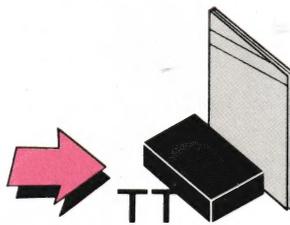
アンテナやテレビのつなぎかたについては、チューナータイマーユニットの取扱説明書をご覧ください。

テレビのチャンネルを合わせます

録画中の番組や、いったんビデオにとった番組をテレビで見るためには、テレビのチャンネルのひとつをビデオ用に合わせる必要があります。

ビデオデッキ裏面のチャンネル切換スイッチを1チャンネル(1CH)か2チャンネル(2CH)のどちらか、放送のない方に合わせてから、テレビをこのチャンネルが受信できるように調整してください。詳しい調整方法はチューナータイマーユニットの取扱説明書をご覧ください。

ここで選んだチャンネルが“ビデオ用チャンネル”となりますので、ビデオを使うときはいつも、テレビをこのチャンネルに合わせてください。



あなたが
録画機やレコード、
録音機などから録画・録音
したものは、個人として
楽しむなどのほかは、
著作権法上、権利者に
無断では使用でき
ません。

1

テレビの電源を入れ、
“ビデオ用のチャンネル”
を選ぶ。

2

電源
ランプが
つくように



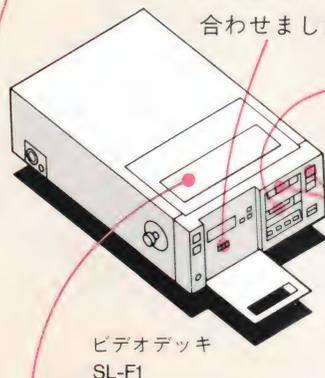
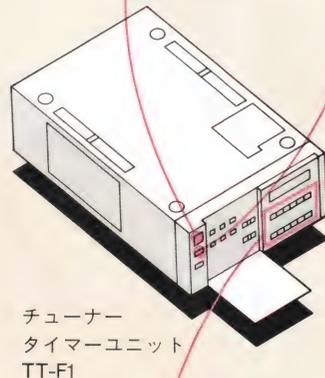
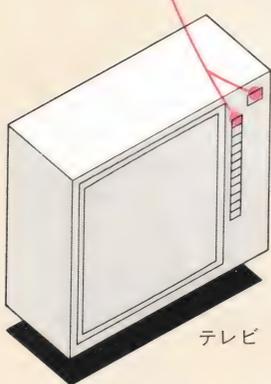
ビデオデッキの電源も
同時に入る。

3

ビデオ
ランプが
つくように

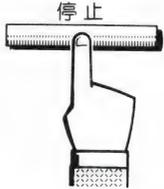


ビデオ切
テレビ換



録画時間は
合わせましたか？

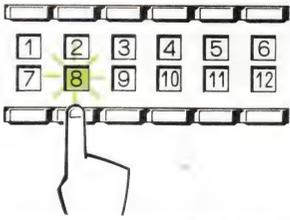
録画をやめたいときは



停止

4

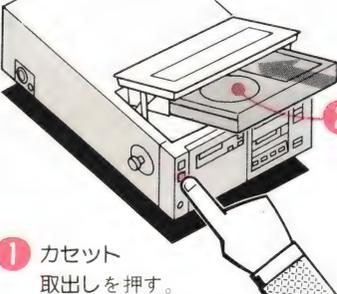
録画する
チャンネルを
選ぶ。



内蔵チューナー
入力切換
中央に

5

カセットを入れる。

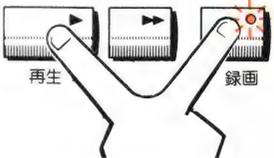


丸い窓を
左にして
入れる。

① カセット
取出しを押す。

6

録画(○)を
押しながら
再生(▷)を
押す。



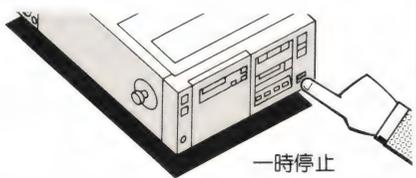
再生
録画

ランプが
つくように

録画が始まる。

テープを一時的に止めるには

一時停止 ボタンを
押してください。



テレビの画面には引き続き番組が映っていますが、テープは止まり、録画はされません。
再び録画を始めるときはもう一度同じボタンを押します。
こうして不要な部分をカットすることができます。
8分以上一時停止の状態が続くと、操作ボタンのランプが消え、ビデオデッキは自動的に録画に戻ります。これは、テープとデッキ内部の機構を保護するためです。

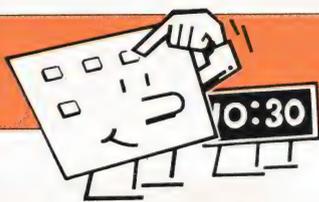
録画しながら別の番組を見るには

同じ時間に見たい番組が2つあるとき、一方の番組を録画しながら、同時に別の番組を見ることができます。

1. 上のようにして録画したい番組の録画を始めます。
2. チューナータイマーユニットのビデオ/テレビ切換スイッチを押してビデオランプを消します。
3. テレビのチャンネルでいま見たい番組を選びます。

録画した番組を見るには

巻戻し(◀◀) ボタンを押してテープを巻き戻し、再生(▷) ボタンを押せば、いま録画した番組が見られます。
止めるときは停止(■) ボタンを押します。



タイマー録画

別売りのチューナータイマーユニットTT-F1と組み合わせると、お好きな時刻にお好きな番組を自動的に録画しておくことができます。

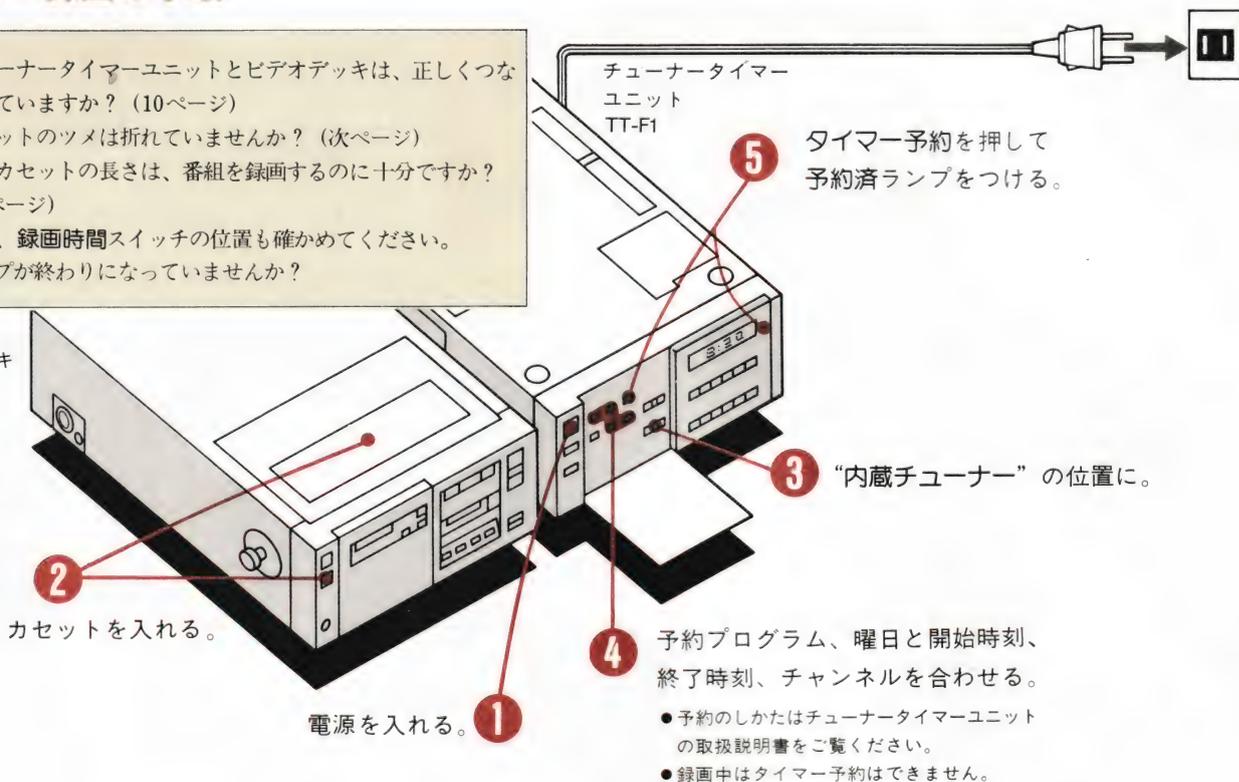
しかも、最高4つまでの番組を2週間以内のお好きな日に予約することができますので、旅行などにお出かけの前に予約して、あとでゆっくりお楽しみください。

タイマー録画の手順

予約前のチェックポイント

1. チューナータイマーユニットとビデオデッキは、正しくつながっていますか？ (10ページ)
2. カセットのツメは折れていませんか？ (次ページ)
3. 使うカセットの長さは、番組を録画するのに十分ですか？ (3ページ)
また、録画時間スイッチの位置も確かめてください。
4. テープが終わりになっていませんか？

ビデオデッキ
SL-F1



こんなときには

予約した時刻になると

自動的に電源が入って録画が始まり、終了時刻（またはテープの終わり）になると電源が切れます。タイマー録画の場合は、テープが終わると電源が切れ、巻き戻しは行われません。

録画予約後ビデオデッキを使うには

いったんタイマー予約ボタンを押すと、ビデオデッキやチューナータイマーユニットのボタン類や電源スイッチは動かなくなりますので、間違いなく録画することができます。

予約後ふつうにビデオを使いたいときは、チューナータイマーユニットのタイマー予約ボタンを押して、予約済ランプを消せば、ふつうに使えます。

予約録画が始まってから録画を止めるときも、タイマー予約ボタンを押してください。

停電があったときは

時計が日曜日の“0:00”で止まっていたら

予約内容がすべて取り消されてしまっています。

もう一度時計を合わせ、最初から予約し直してください。

10分以内の短い停電なら

チューナータイマーユニットの内蔵電池が予約内容を保っています。この場合は時計も正確な時刻を示していますので、そのまま最初の予約通りに録画されます。

録画中に停電したら

録画はそこで中断されます。

10分以内の短い停電のときは、停電後、再び録画が始まりますが、長い停電で予約内容が取り消されてしまったときは、停電が終わってもビデオデッキは止まっています。

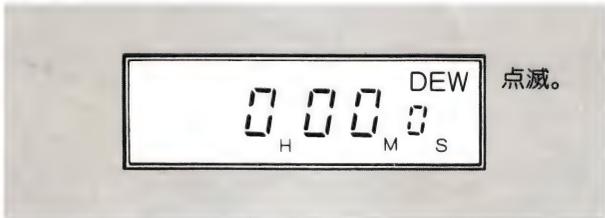
冬、暖房のきいた部屋の窓がくもったり、夏でもお風呂場の窓がくもったりするのを皆さんはご存知ですね。ビデオデッキの内部でも、同じようなことが起こります。

寒い時期にはご用心!



冷えた戸外から急に暖かい室内にビデオデッキを持ち込んだり、湯気や湿気のたち込めた部屋に置いておくと、デッキの内部に水滴がつくことがあります。そのままではテープがデッキ内部の部品にはりついたりして、正常に働かないばかりでなく、テープやデッキをいためてしまいますので、このデッキにはこれを防ぐ安全装置がついています。

水滴がつくと電源を入れてもデッキは動かなくなり、タイムカウンターに“DEW”（露）の文字が表示されます。



“DEW”表示が出たときは → すぐにカセットを取り出し、電源を入れたまま“DEW”表示が消えるまでお待ちください。

●バッテリーバックで使っている場合、“DEW”表示が消えるまでの時間は周囲の状況により大きく変わってきます。数時間以上待っても表示が消えない場合は、チューナータイマーユニットかACパワーアダプターをつないでください。

チューナータイマーユニットやACパワーアダプターをつないだときは

デッキに内蔵されているヒーターが働いて、短時間(約1時間半)で水滴を取り除くことができます。また、気温が15℃以下になると自動的にヒーターがデッキの内部をあたためますので、水滴つきにくくなります。

●チューナータイマーユニットのリモコン/ヒータースイッチは自動の位置にしておいてください。

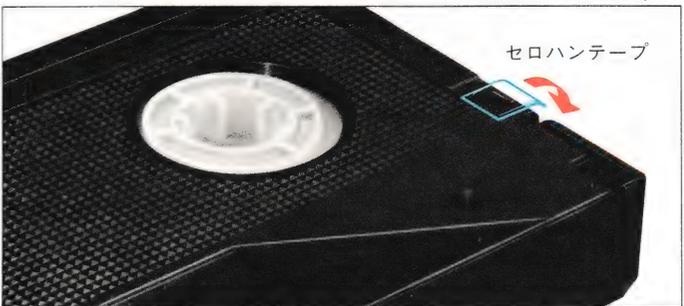
録画をすると前の録画は消えてしまいます

大切に保存しておくつもりで録画済みテープにうっかり再録画して前の内容を消してしまう……そんな失敗を防ぐために、ビデオカセットの裏にあるツメをご利用ください。

ツメのないカセットには録画できません。ツメをドライバーなどで折っておくと、録画しようとしても録画ボタンが働かなくなり、大切な録画を間違えて消してしまう心配がありません。折ったツメは完全にに取り除いてください。



ツメが折れたカセットにまた録画するには ツメを折った穴をセロハンテープでふさぐと、元通りに録画できるようになります。



録画するときは、カセットのツメがついているか、テープでふさいであることを確認してください。

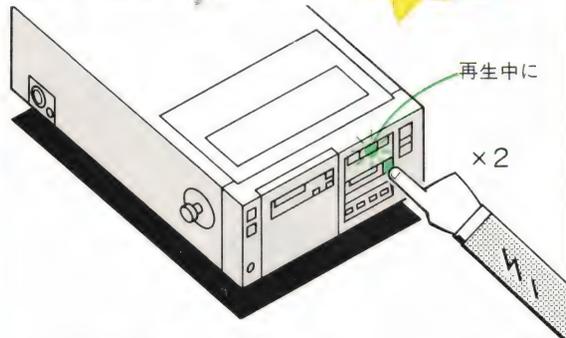


いろいろな再生画像を見るには スイングサーチ

このビデオデッキでは、ふつうの速度での再生のほかに、静止画やスローモーション、倍速再生、コマ送り、逆戻り再生といった、ビデオならではの楽しい再生画像を見ることができます。録画した画像をゆっくり送ったり早くしたり……決定的瞬間を止めて見たり……。お好みに合わせてお楽しみください。

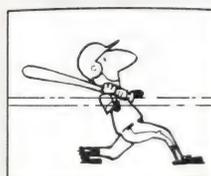
2倍速再生

早送り画像を見るには



ふつうの再生にもどすには……再生 (▷) ボタンを押すか、x2 ボタンをもう一度押してください。

画面の横縞をなくすには

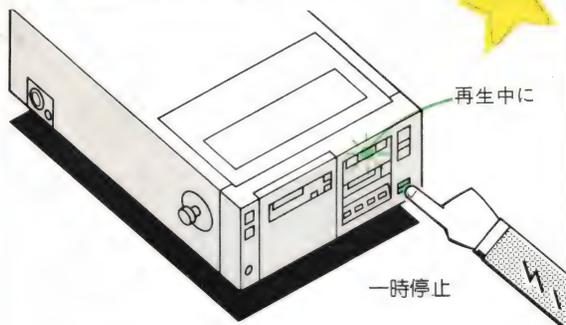


回して調節する。

●トラッキングつまみは、2倍速再生が終わったら、必ず中央の位置にもどしてください。

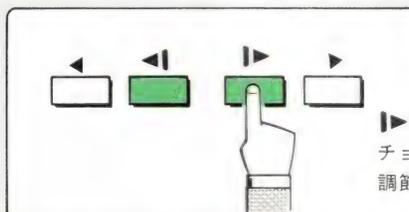
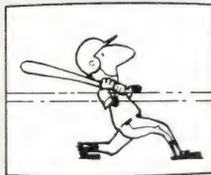
静止画

画像を止めるには



ふつうの再生にもどすには……一時停止 ボタンをもう一度押してください。

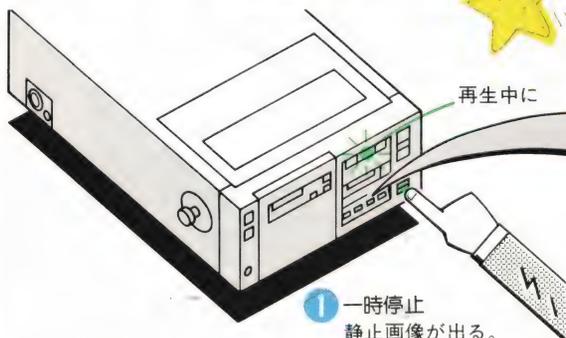
画面の横縞をなくすには



▶または◀を
チョンチョンと押して
調節する。

スロー再生

スローモーション画像を見るには



ふつうの再生にもどすには……一時停止ボタンをもう一度押してください。

2

逆方向の
スローモーションを見る時

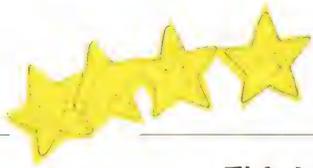
押し続ける。

ふつうの方向の
スローモーション
を見る時

●指をはなすと静止画像にもどる。



スイングサーチ中は、音声は聞こえません。
また、**PA** モードで録画されたテープでは
スイングサーチはできません。



2 逆戻りのコマ送りを
するとき

ふつう方向に
コマ送りを
するとき

動きが速いときは
このボタンを使う。

チョンと押してはなし、またチョンと押してはなし。
これをくり返して、ひとコマずつ送っていく。

●ボタンを押している時間が長いと動きが速く、短いと遅くなります。

動きを分解して見るには

再生中に

1 一時停止
静止画像が出る。

ふつうの再生にもどすには……
一時停止ボタンを
もう一度押してください。

コマ送り

画面の横縞をなくすには

しま

トラッキング

回して
調節する。

●トラッキングつまみは
逆戻り再生が終わったら
必ず中央の位置に
戻してください。

画像を逆方向に動かすには

2 ふつうの速度で
逆戻りしたいとき

スローモーションで
逆戻りしたいとき

押し続ける。
指をはなすと
静止画像にもどる。

再生中に

1 一時停止
静止画像が出る。

ふつうの再生にもどすには……
一時停止ボタンを
もう一度押してください。

逆戻り再生

ある場面を行ったり来たりしてくり返し見るには

2

交互に押す。

◀と▶を交互に押すと
スローモーションの往復くり返し
再生ができる。

再生中に

1 一時停止
静止画像が出る。

往復くり返し再生



希望の所をさがすには 

テープ全体の内容に索引をつけるには タイムカウンター

タイムカウンターはテープの走行時間を示しますので、これを利用すると、録画内容に索引をつけることができます。

録画や再生のとき、テープの最初でゼロセットボタンを押し、カウンターを“0000”にします。

録画や再生をしながら、録画内容と番組のはじめのカウンター表示をメモしておけば、あとで早送りや巻き戻しをして、希望の所を見つけるのが簡単です。



電源が切れるとカウンター表示はゼロに戻ります。

途中で電源を切ると、次に電源を入れたときカウンターの表示は前の表示に関係なく“0000”となり、メモした表示と変わってしまいます。電源は途中で切らないようにしましょう。

カウンター表示“0000”からさらにテープを巻き戻すと、カウンターの表示はマイナスの時間を示します。

何も録画されていないテープではカウンターは働きません。

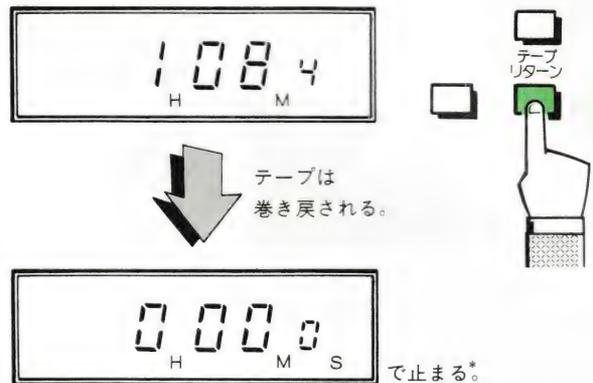
タイムカウンターは録画のときに同時に記録されていく信号 (24ページ参照) を検出して働きます。何も録画されていないテープではカウンターの表示は動きません。

見たい所へすばやく戻るには

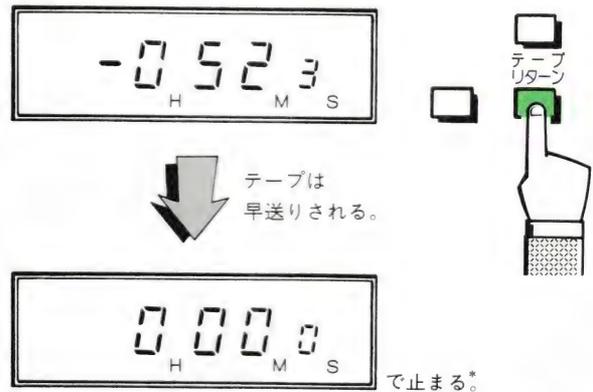
テープリターン

録画や再生のとき、あとでもう一度見たい部分がきたら、そこでゼロセットボタンを押し、カウンター表示を“0000”にしておきます。

録画や再生などが終わったら、停止 (■) ボタンでテープを止めてからテープリターンボタンを押すと、テープは前にゼロセットボタンを押した位置まできて止まります。



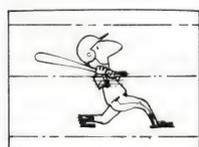
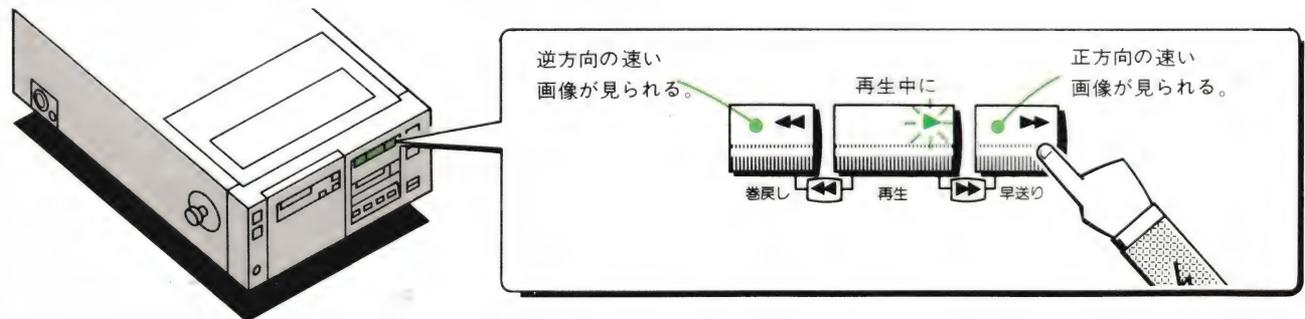
カウンターがマイナス表示のときは



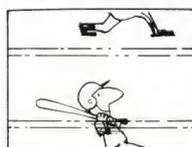
*テープが止まる位置のカウンター表示は多少前後します。

高速で画像を見ながらさがすには ピクチャーサーチ

再生 (▷) ボタンを押してから、早送り (▷▷) または巻き戻し (◁◁) ボタンを押してください。ボタンを押している間だけ、再生画像が高速で送られ、指をはなすとふつうの再生に戻ります。



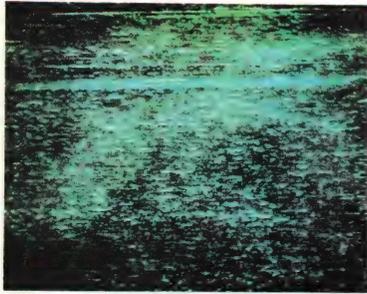
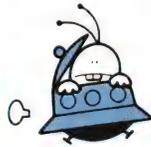
ピクチャーサーチ中は数本の横縞が入ります。



ピクチャーサーチ中に画像が上下に流れるときは? —テレビの垂直同期つまみを調節してみてください。

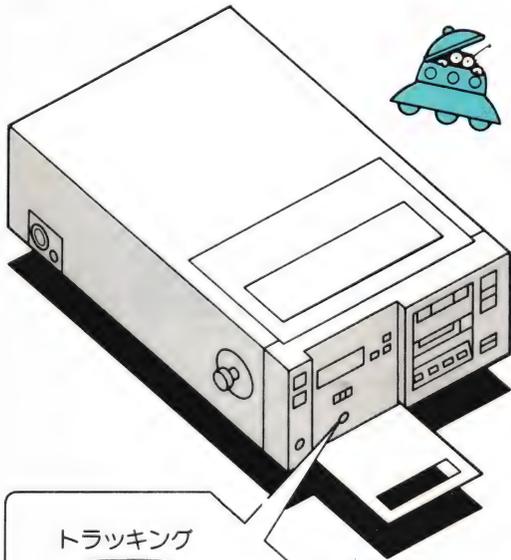
画像はきれいですか？

画像がザラザラしたり、消えたりする



ビデオヘッドをクリーニングしてください。

長い間使っているうちにテレビ番組はきれいに映るのに、ビデオを再生すると画像が出なかったり画面がザラザラするようになったときは、ビデオヘッドの汚れによることがあります。別売りのソニービデオヘッドクリーニングテープL-25CLを使ってクリーニングしてみてください。クリーニングテープは使いかたを誤るとビデオヘッドをいためることがあります。クリーニングテープの説明書をよく読んでからお使いください。



画像が曲がったり、白くチラついた画面になる



他のビデオデッキで録画したカセットではありませんか？

もしそうなら、前のふたをあげ、中のトラッキングつまみを調節してください。

トラッキング



そのカセットを見終わったら、必ずつまみを元の位置（まん中のカチッと止まる場所）にもどしてください。

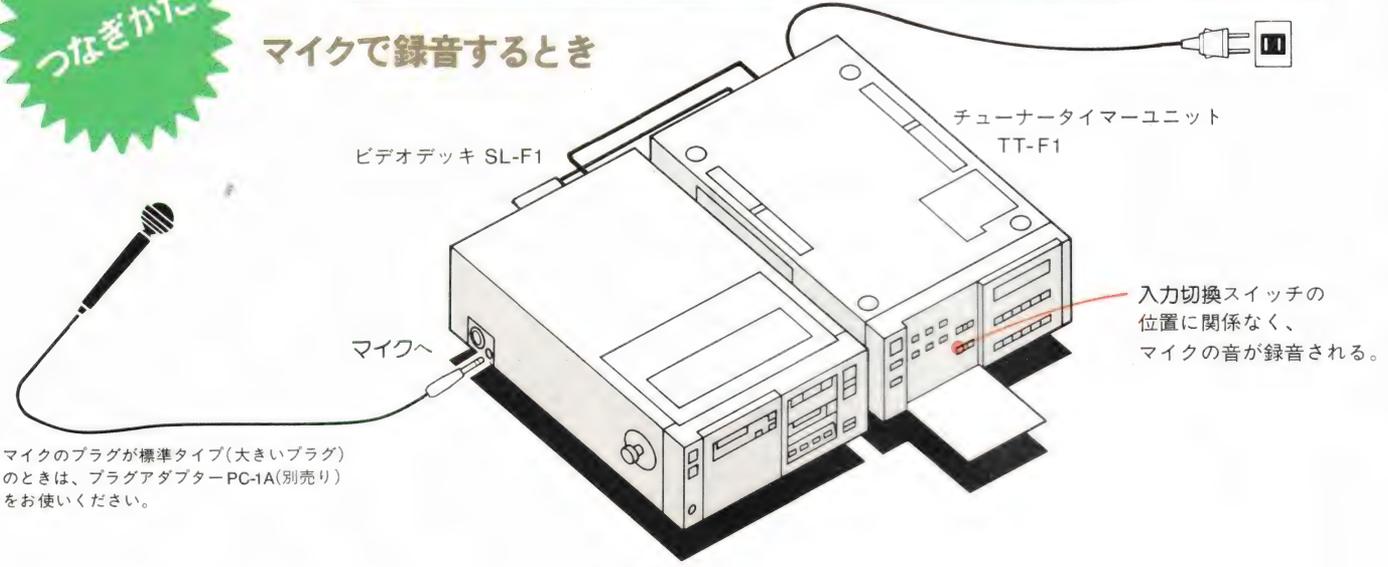
あとから 音だけを録音するには アフレコ

録画済みのカセットに、あとから録画内容に合わせた音楽やナレーションなどを録音することができます。前に録画した画像をテレビで見ながら録音できるので、自作の番組を作るのに便利です。

ちょっとひと言
アフレコでは、前の音は消されて新しい音が録音されますが、画像は前のまま残ります。また、何も録画されていないテープに音声だけを録音することはできません。

つなぎかた

マイクで録音するとき

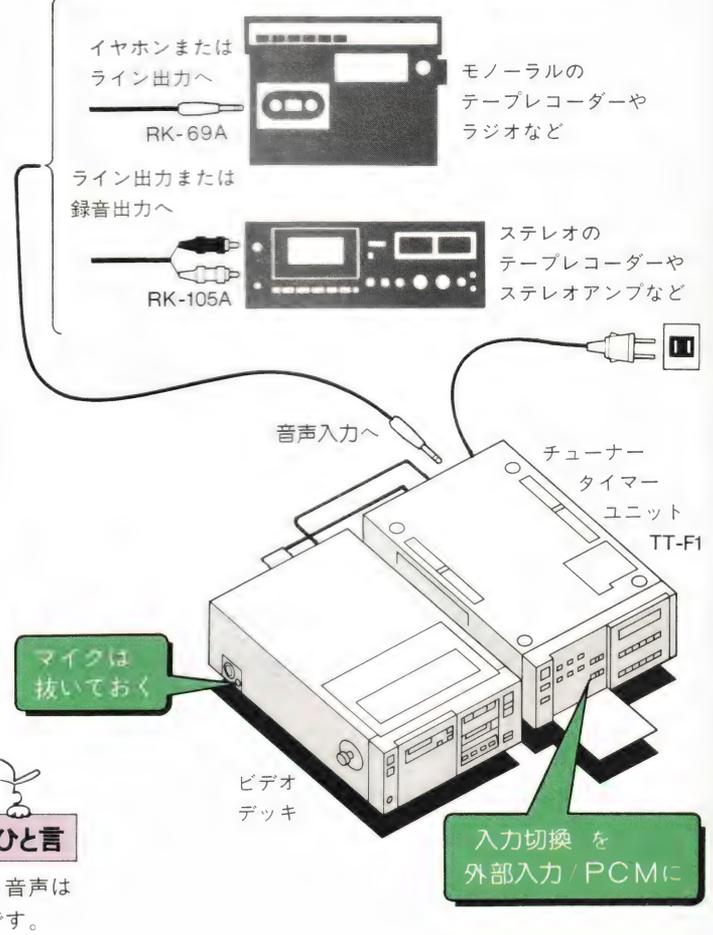
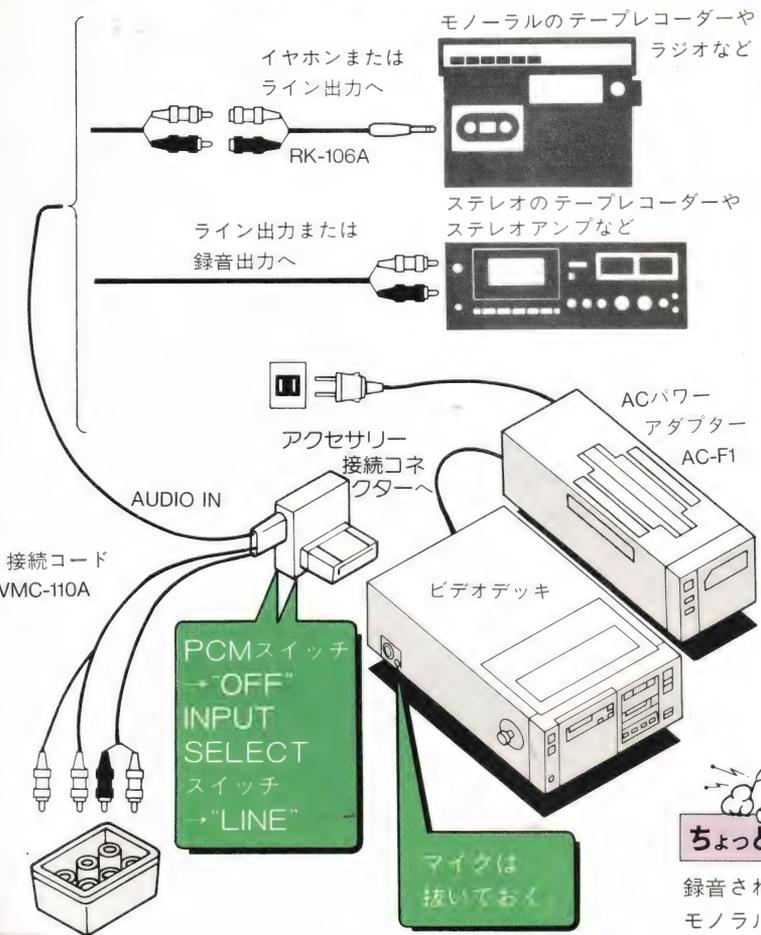


マイクのプラグが標準タイプ(大きいプラグ)のときは、プラグアダプターPC-1A(別売り)をお使いください。

テープレコーダーやラジオ、ステレオなどから録音するとき

ビデオデッキに直接録音するには

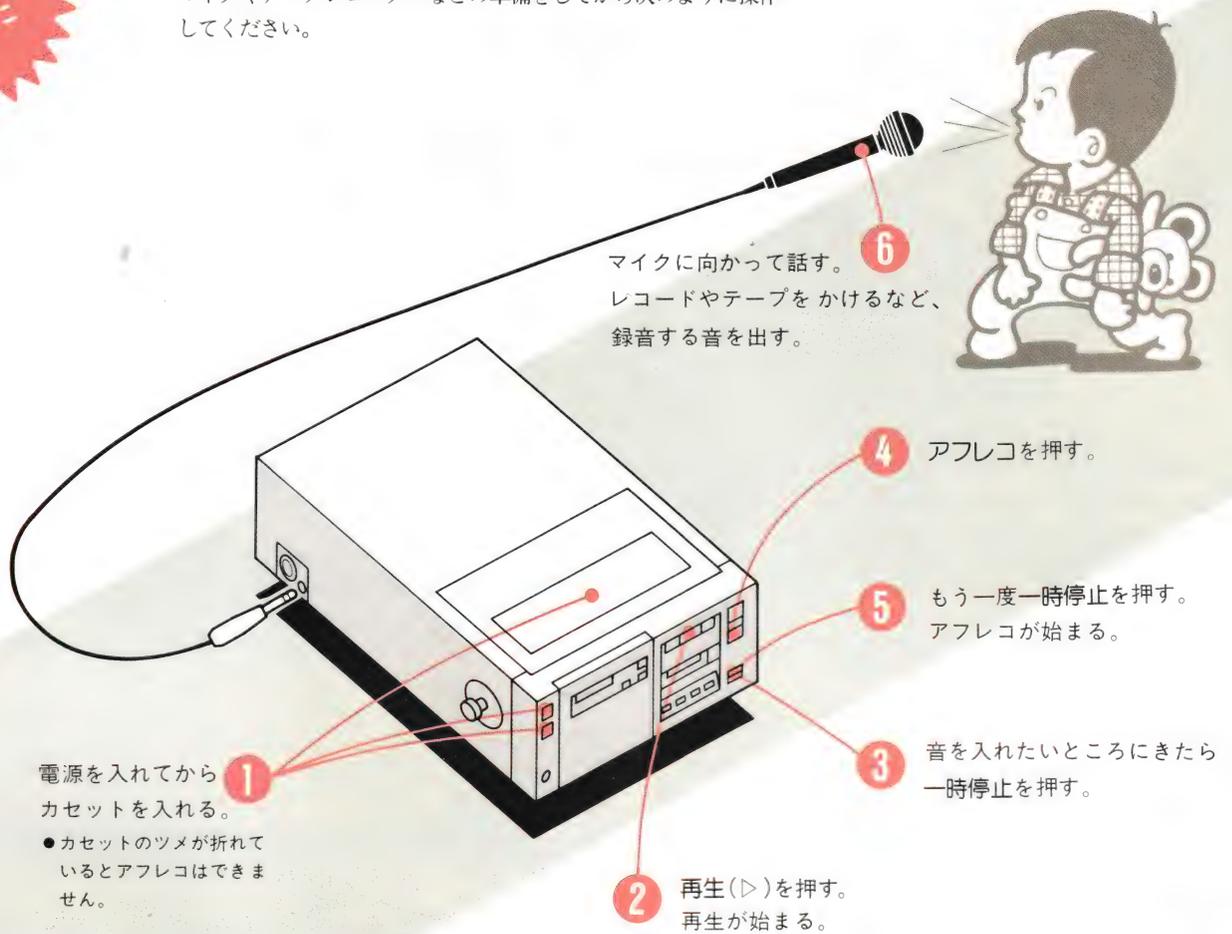
チューナータイマーユニットを使って録音するには



ちょっとひと言
録音される音声はモノラルです。

アフレコのしかた

はじめにどの部分でどんな音声を入れるのかを決め、音源になるマイクやテープレコーダーなどの準備をしてから次のように操作してください。



アフレコが終わったら……

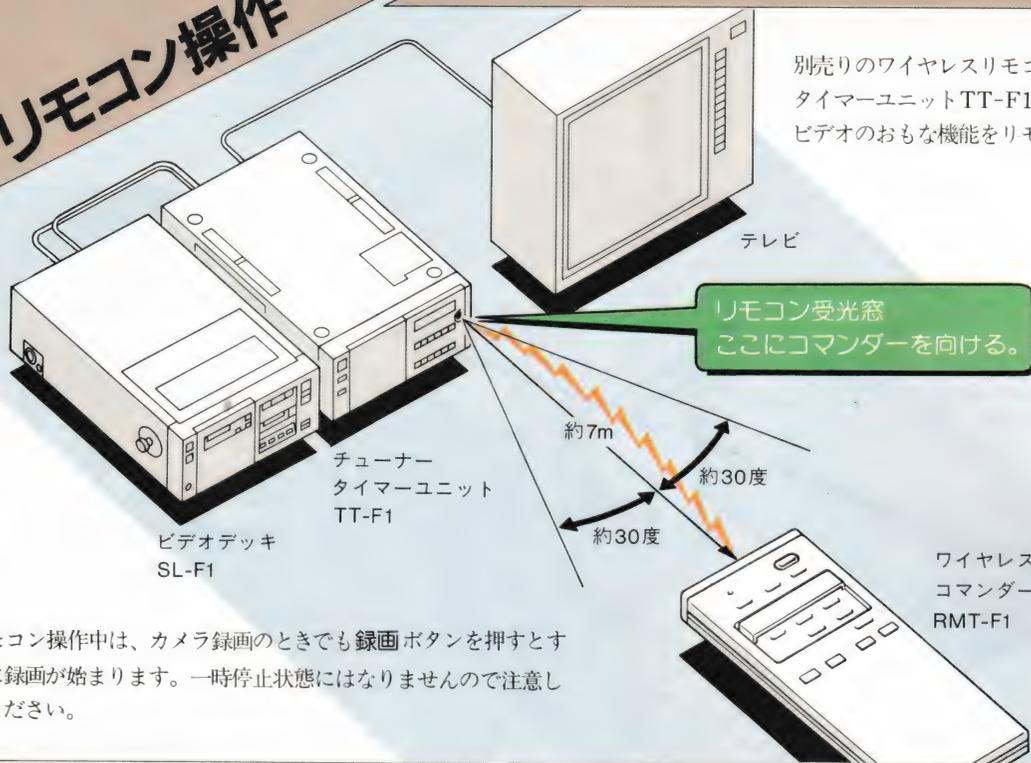
停止ボタンを押してテープを止めてください。
一時的な中断なら一時停止ボタンが使えます。

マイク録音中にピーッという音がしたら
マイクがテレビのスピーカーに近すぎます。
テレビからマイクを離すか、テレビの音量を下げてください。

テープのはじめから 音声を入れ換えたいときは

先にアフレコボタンを押しておさえのまま再生(▷)ボタンを押してください。
すぐに録音と画像の再生が始まります。

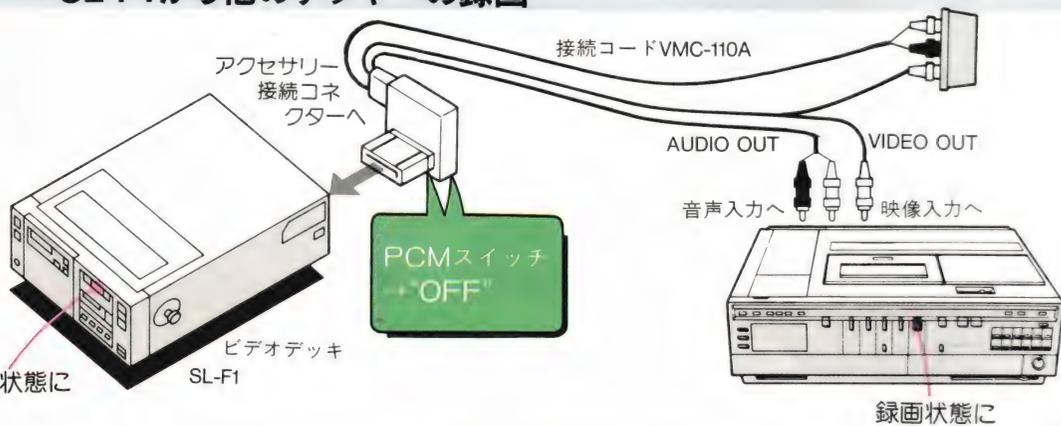
リモコン操作



リモコン操作中は、カメラ録画のときでも録画ボタンを押すとすぐに録画が始まります。一時停止状態にはなりませんので注意してください。

テープコピー

SL-F1から他のデッキへの録画

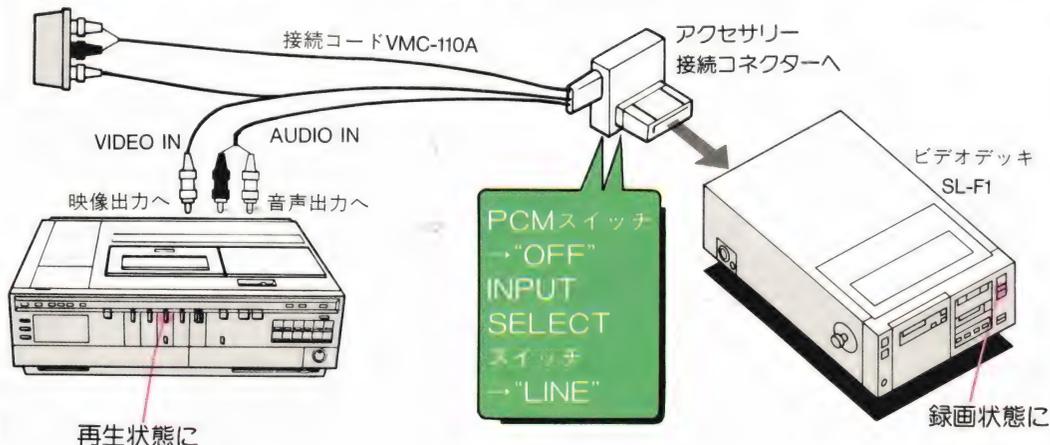


チューナータイマーユニットを使う場合は

チューナータイマーユニットの映像入力（または出力）をもう一台のビデオデッキの映像出力（または入力）に、音声入力（または出力）を相手の音声出力（または入力）につなぎます。

●映像信号の接続にはVMC-1S、音声の接続にはRK-69Aをお使いください。（相手のビデオデッキがステレオ機の場合は、音声用にはRK-105Aが便利です。）

他のデッキからSL-F1への録画

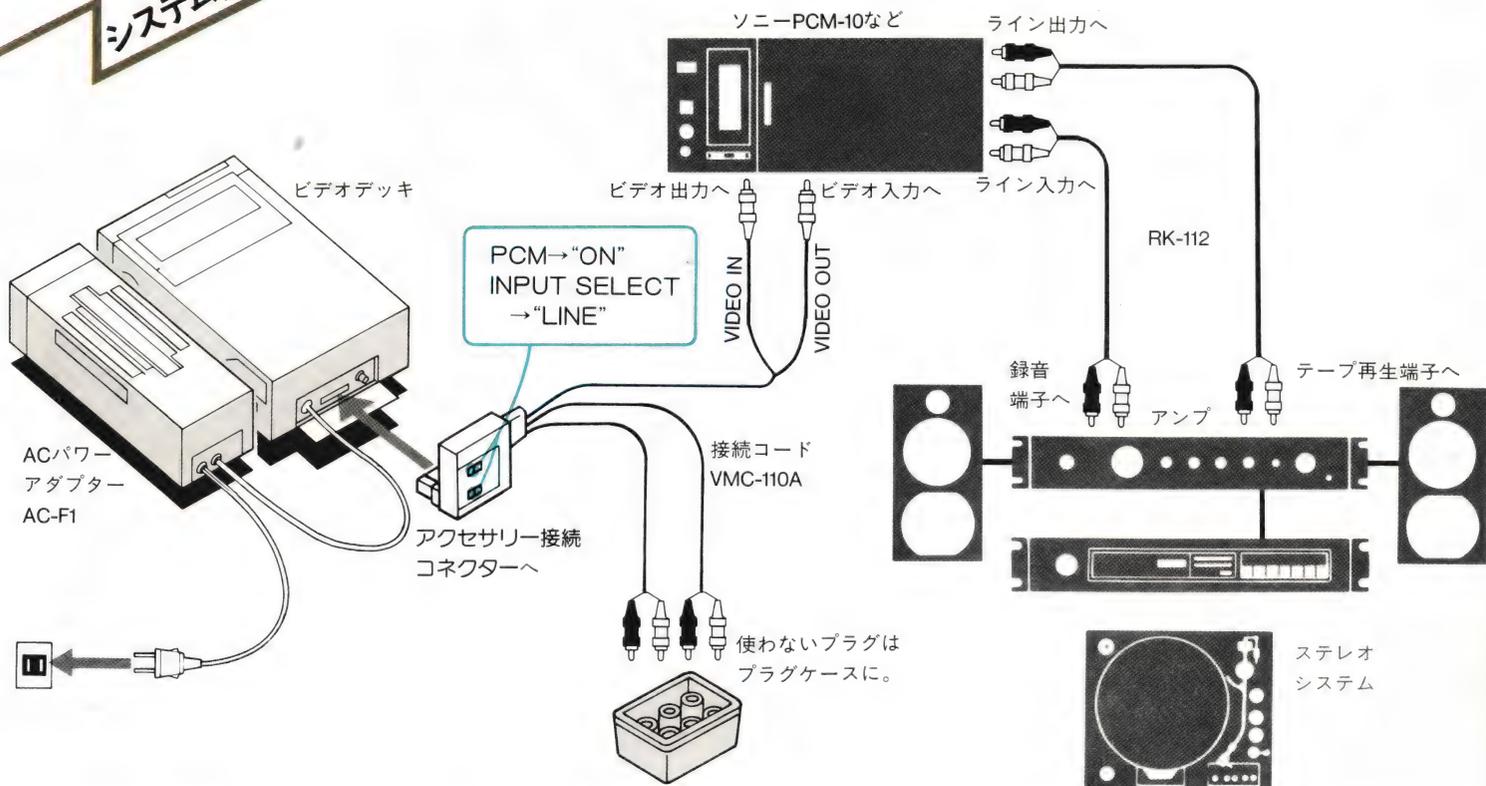


PCM録音/再生

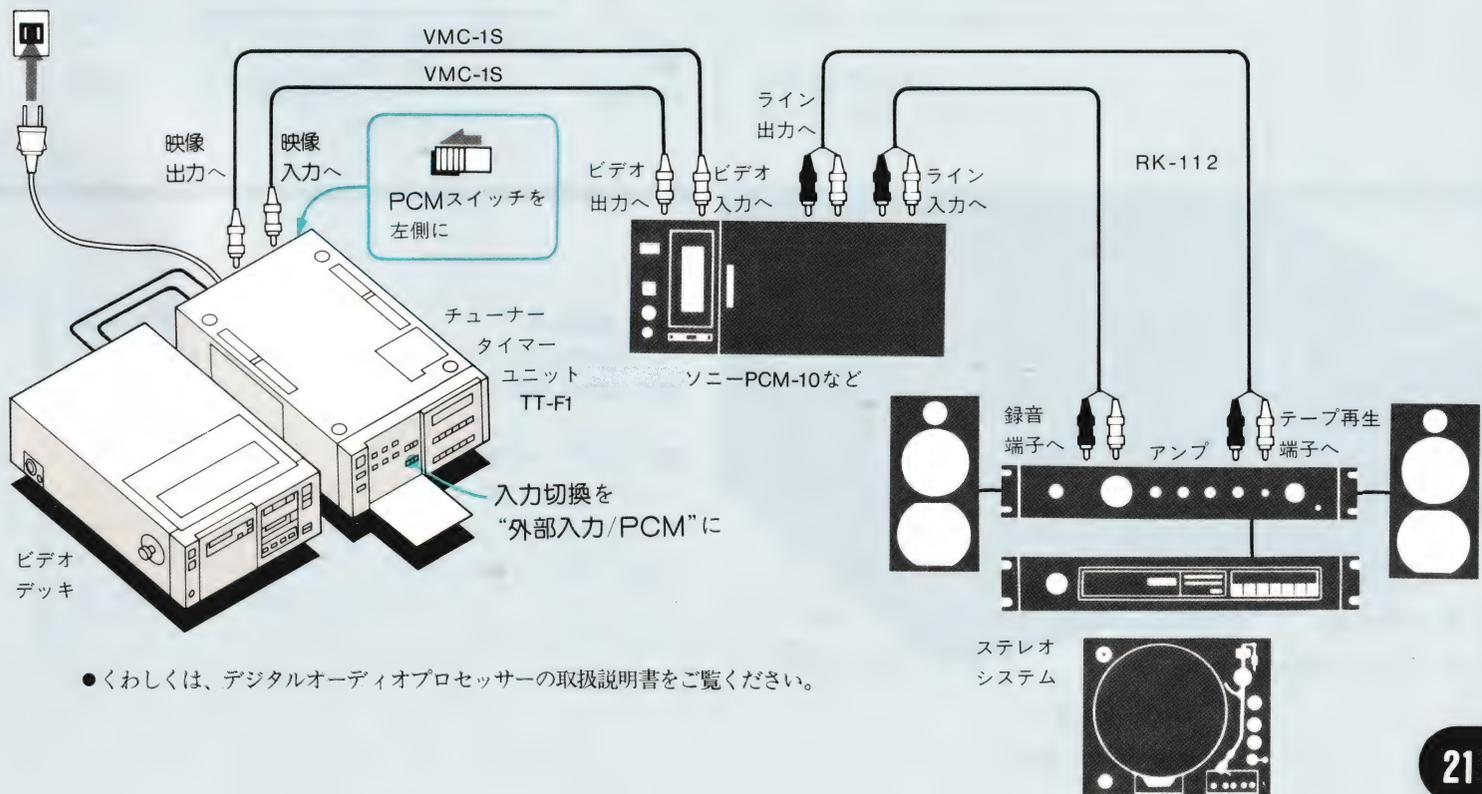
システム接続図

デジタルオーディオプロセッサPCM-10などを使うと、このビデオデッキで、Hi-Fi音の録音や再生ができます。オーディオのテープレコーダーでは得られない、広いダイナミックレンジと高S/Nのデジタルオーディオへの世界が広がります。

- PCM録音・再生は、**FM**モードで行ってください。
- また、ビデオカセットはL-500以下(L-250、L-125など)をお使いください。



チューナータイマーユニットを使うときは



つまみやボタンの働き



① ライトボタン

暗いところなどで、タイムカウンターが見つらいときに押します。押し続けている間、カウンター部が照明されます。

② テープリターンボタン

タイムカウンター“0.00.00”の位置へ素早く戻りたいとき、停止状態からこのボタンを押します。

③ ゼロセットボタン

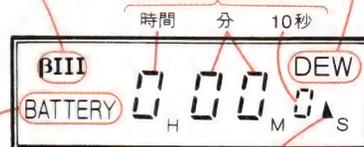
タイムカウンターの表示を“0.00.00”にすると押しします。

④ タイムカウンター部

録画中は録画時間スイッチで切り換えたモード、再生中は自動的に切り換えられたモードが表示される。

デッキ内部に水滴がつくと点滅。

ふつうの再生速度でのテープの走行時間を示す。



バッテリーパックの電池がなくなると点滅。

テープが正方向に動いているときは▲が点滅。

テープが逆方向に巻き戻されているときは▼が点滅。



②① DC電源端子

ACパワーアダプターAC-F1 (別売り) やカーバッテリーコードDCC-2400B (別売り) をつなぎます。

②② アクセサリー接続コネクタ

チューナータイマーユニットTT-F1(別売り)などをつなぎます。

⑤電源スイッチ

押すと電源が入り、ランプが点きます。電源を切るときはもう一度押します。チューナータイマーユニット TT-F1 をつないだときは、このスイッチは働きません。TT-F1の電源スイッチでビデオデッキの電源も入/切されます。

⑥カセット取出しボタン

ビデオカセットを入れるときや取り出すとき、このボタンを押してカセットホルダーを開けます。このボタンは、電源が入っていないときは働きません。

⑦録画時間スイッチ

録画のとき、このスイッチでテープ速度を切り換えることにより、同じカセットテープでも録画できる時間を変えられます。

Ⅲモードでは、**Ⅱ**モードの1.5倍の録画時間になります。

●録画の途中で切り換えると画像や音声が悪くなる場合がありますので注意してください。

●再生中は、このスイッチがどこにあっても、自動的にテープ速度が切り換わります。

⑧イヤホンジャック

アフレコやカメラ録画のとき、音声チェック用のイヤホンをつなぐことができます。

⑨トラッキングつまみ

2倍速再生や逆戻り再生、他のビデオデッキで録画したカセットの再生のとき、画像が曲がったり、白くチラついた画面になる場合に、このつまみで調整します。見終わったら、必ずつまみを中央の位置へ戻しておいてください。

⑩バッテリー挿入口と取出しボタン

バッテリーパック NP-1 (別売り) を入れます。取り出すときは取出しボタンを押します。

⑪巻戻し(◀)ボタン

テープを巻き戻すとき押します。再生中に押すと逆方向(後戻り)のピクチャーサーチができます。

⑫再生(▷)ボタン

録画したビデオを見るとき押します。

⑬録画(○)ボタン

録画するとき、このボタンを押しながら再生(▷)ボタンを押します。ふつうはこれで録画が始まります。ただし、カメラ録画のときは一時停止状態になりますので、カメラのテープ走行ボタンを押して録画を始めてください。

⑭早送り(▶▶)ボタン

テープを早送りするとき押します。再生中に押すと正方向のピクチャーサーチができます。

⑮アフレコボタン

録画済みのカセットにあとから音声だけを録音するとき使います。

⑯×2ボタン

2倍速再生するとき、再生中にこのボタンを押します。再生(▷)ボタンのランプが点滅します。ふつうの速度に戻すには、再生(▷)ボタンを押すか、もう一度このボタンを押してください。

⑰一時停止ボタン

録画、再生中にテープを一時的に止めるとき押します。再びテープを動かしたいときはもう一度押してください。再生中にこのボタンを押すと、静止画像が見られます。

⑱スイングサーチボタン

再生の一時停止状態からスローモーションやコマ送りができます。

逆戻り再生。 正方向の
チョンチョンと 逆方向の
チョンチョンと
押すと逆方向の
コマ送りができる。 正方向の
チョンチョンと
押すと
コマ送りができる。

逆方向のスローモーション再生。 正方向の
チョンチョンと
押すと
コマ送りができる。

⑲停止(■)ボタン

テープを止めるとき押します。

⑳VHF出力端子

チューナータイマーユニット TT-F1 (別売り) のVHF入力コードや、テレビのVHFアンテナ端子と接続します。ビデオデッキの信号がここからチューナータイマーユニットやテレビに送られます。

㉑チャンネル切換スイッチ

VHF出力端子から出る信号を1チャンネル(1CH)か2チャンネル(2CH)に切り換えるスイッチです。あなたの地域で放送のないチャンネルに合わせてください。

㉒カメラ端子(14ピンK型コネクター)

ソニービデオカメラ HVC-F1 (別売り) などをつなぎます。映像と音声信号の受け渡しのほか、カメラへの電源もここから供給できます。

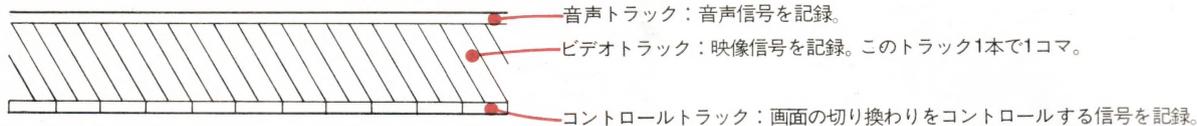
㉓マイクジャック(ミニジャック)

マイクを使って音声を録音するとき、ミニプラグ付きのマイクをつなぎます。マイクのプラグが標準タイプ(大きいプラグ)のときは、プラグアダプター PC-1A (別売り) をお使いください。

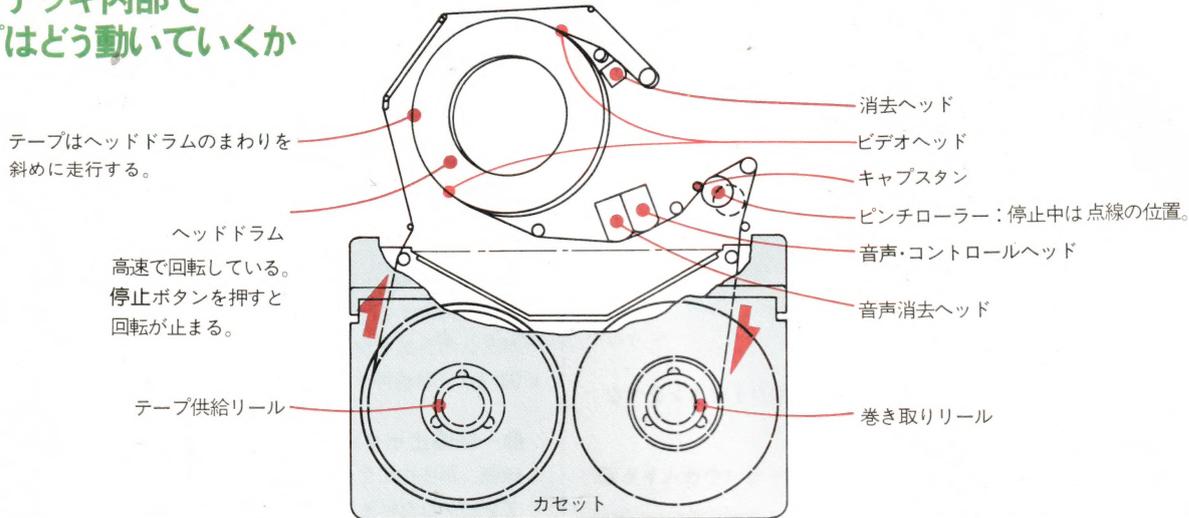


音と映像の信号は、どのようにテープに記録されるのか

ビデオでは、音の信号も映像の信号も磁気の強弱としてテープに記録されます。テープの割り当ては図のようになっています。



ビデオデッキ内部でテープはどう動いていくか



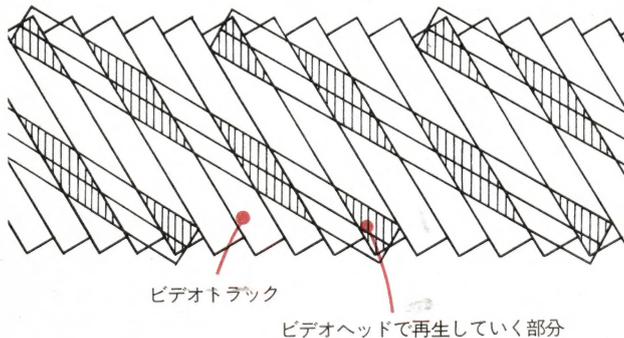
一時停止でつないだ録画のつなぎ目が乱れないのはどうしてか

「一時停止」状態にすると、コントロール信号で数個分、テープが自動的に巻き戻されて一時停止状態で待機しています。次に録画を始めるために一時停止を解除すると、巻き戻された部分のコントロール信号を数えて録画を始めるタイミングをぴったりと合わせるので、前の録画とスムーズにつながるわけです。

これに対してふつうのビデオでは、こうしたタイミング合わせが行なわれないため、つなぎ目で画像が乱れることがあります。

ピクチャーサーチは

通常より速いスピードでテープを送り、何本ものビデオトラックを横切って再生していくので、速い画像が得られます。このとき、ビデオトラックを横切るので画面には数本の横縞が入ります。



タイムカウンターはどうやって時間を計る

テープの走行時間が正確にわかる便利なカウンターです。これが可能なのはビデオテープにコントロール信号が記録されているからです。

コントロール信号は上の図でわかる通り2コマに1回——つまり1/60秒に1回——記録されるので、これをカウントすれば、秒まで正確に計ることができるわけです。

どうして静止画が見られるのか

斜めに何本も並んでいるビデオトラックの同じ部分だけをくり返し再生することによって、静止画像が見られます。

ときどき横縞が見えるのは、ヘッドが前後のトラックにまたがってしまうからです。

どうしてふつうのテレビで見られるのか

ビデオから出る信号が、ふつうのテレビ放送の電波と同じ性質のものに変えられているため、テレビのアンテナ端子につながぐだけでビデオの信号が見られます。このビデオデッキでは、出力信号を1チャンネルか2チャンネルのどちらかの信号に合わせて出しています。ですから、テレビ側では、ふつうのテレビのチャンネルを選ぶのと同じように、ビデオ用のチャンネルを選べば良いわけです。

主な仕様

システム

録画方式	回転2ヘッド ヘリカルスキャン FM方式
映像信号	NTSCカラー方式 EIA標準方式
VHF出力	F型コネクタ、75Ω不平衡 1CHまたは2CH切り換え式
使用可能カセット	ⓑ または ⓓ マークのついたビデオカセット
テープ速度	ⓓ ：1.33cm/秒 ⓑ ：2.00cm/秒 ⓐ ：4.00cm/秒(再生のみ)
最大録画・再生時間	ⓑ モード：180分 ⓓ モード：270分 (ビデオカセット L-750使用時)
早送り・巻き戻し時間	約3分30秒 (ビデオカセット L-500使用時)
水平解像度	カラー 240本
映像S/N	45dB
音声周波数特性	ⓑ モード：50Hz～10kHz ⓓ モード：50Hz～7kHz
音声S/N	40dB (ⓑ 、 ⓓ モードとも)

入出力端子

カメラコネクタ	14ピンK型コネクタ
映像入力	1V _{p-p} ±0.5V _{p-p} 75Ω 不平衡、同期負
映像出力	1V _{p-p} ±0.5V _{p-p} 75Ω 不平衡、同期負
音声入力	-20dBs (0dBs=0.775V _{rms})
音声出力	-5dBs(100kΩ負荷時) 出力インピーダンス10kΩ以下
電源出力	DC 12V

アクセサリ接続コネクタ

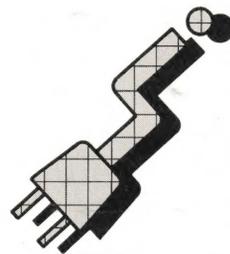
26ピンコネクタ	
映像入力	1V _{p-p} ±0.5V _{p-p} 75Ω 不平衡、同期負
映像出力	1V _{p-p} ±0.5V _{p-p} 75Ω 不平衡、同期負
音声入力	-5dBs、入力インピーダンス 100kΩ
音声出力	-5dBs(100kΩ負荷時) 出力インピーダンス10kΩ以下
電源入力	DC 12V

マイク入力	ミニジャック -60dBs、低インピーダンスマイク用
イヤホン出力	ミニジャック -26dBs、8Ωイヤホン用

電源部、その他

電源	動作電圧：DC 12V 使用可能電源 バッテリーバック NP-1 AC 100V±10%、50/60Hz (チューナータイマーユニット TT-F1使用) AC 100V、50/60Hz (ACパワーアダプター AC-F1使用) 12V自動車バッテリー (カーバッテ リコードDCC-2400B使用)
消費電力	8.4W (DC動作時、カメラ含まず)
動作姿勢	水平、垂直
動作温度	5℃～40℃
保存温度	-20℃～+65℃
大きさ	215×80×305mm(幅/高さ/奥行き) 最大突起部を含まず
重さ	4.2kg (本体のみ)
付属品	肩かけベルト……………1 コネクタ付き同軸ケーブル……………2 アンテナセレクターANS-32……………1 アンテナコネクタ EAC-24(75Ω→300Ω変換用)……………1 EAC-25(300Ω→75Ω変換用)……………1 イヤホン ME-20H……………1

本機の使用および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



故障かな？

修理にお出しになる前にもう一度点検を。

	症状	原因	処置
電源	電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電式電池が消耗している。 ● ACパワーアダプターやチューナータイマーユニットが正しくつながれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電の済んだ電池を使う。 ● 4ページを見て正しくつなぎ、それぞれの電源スイッチを押す。
	電源が入っているのに動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオデッキ内部に水滴がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● タイムカウンターに“DEW”表示が出ていたら、表示が消えるまで待つ。
	電池の消耗が早い。	<ul style="list-style-type: none"> ● 温度が極端に低いところで使っている。 ● 充電が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲を布でくるむなどの保温処理をする。 ● 充電し直す。
録画・再生	録画や再生中の画像がテレビに映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビのチャンネルがビデオに合っていない。 ● テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ビデオ用のチャンネル（1または2）に合わせる。(9ページ) ● テレビの取扱説明書を参照して、ビデオの画像がきれいに映るように微調整する。
	電源が途中で切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 充電式電池で使用、8分以上テープが止まっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の消耗をおさえるため自動的に切れるようになっているので、電源スイッチを押し直す。
	録画ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットのツメが折れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ツメの折れていないカセットを使うか、ツメを折った穴をセロハンテープなどでふさぐ。
	録画しようと思った番組や画像が録画できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ録画のとき、カメラのテープ走行ボタンの操作が間違っていた。 ● チューナータイマーユニットをつないでいるとき、入力切換スイッチの位置が正しくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラのビューファインダー内のランプを見て、テープが動いているかどうか確認しながらボタンを押すようにする。 ● カメラ録画のときは“カメラ”の位置に、テレビ録画は“内蔵チューナー”にする。
	画面がきれいに映らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビのビデオ用チャンネルが正しく合っていない。 ● ビデオヘッドの汚れ。 ● 別のビデオデッキで録画したテープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● テレビの微調整つまみを調節する。 ● クリーニングカセットでクリーニングする。(17ページ) ● トラッキングつまみで調節する。(17ページ)
タイマー録画	タイマー録画ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 予約した曜日と時刻が間違っていた。 ● チューナータイマーユニットのタイマー予約ボタンを押さなかった。 ● 停電があった。 ● カセットのツメが折れている。またはカセットが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● いったん予約したら必ず確認するように。 ● 必ず予約済ランプがついていることを確かめる。 ● 時計が“0:00”で止まっていたら停電があったためです。 ● ツメの折れていないカセットを入れる。
その他	テープが動いているのにタイムカウンターが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● テープに何も録画されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画するか、すでに録画したテープを入れれば正常に動く。
	操作ボタンが動かない。	<ul style="list-style-type: none"> ● テープが最初まで巻き戻されている。またはテープが最後まで巻き取られている。 	
	アフレコができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● テープに何も録画されていない。 ● カセットのツメが折れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● まず録画してから音声を録音する。 ● セロハンテープで穴をふさぐ。